＜スポーツネットミーティング主旨＞

毎月１回（第１月曜日）に（財）学際研究所附属病院リハビリ室でスポーツ指導者・整形外科医・理学療法士・柔道整復士・鍼灸師・トレーナーなどのスポーツ現場に携わる方々の競技種目・立場を越えたコミュニケーションの場として実施しています。地域に根差した医療、指導者、トレーナーのネットワークを確立し、選手一人一人により良いサポート体制を作りたいという思いのもと取り組んでおります。昨年６月に第１００回を迎えることが出来ました。これも参加して頂いている皆様や関係者の方々のお陰であると感謝しております。

懇　親　会

～より良いスポーツ環境を目指して～

１２月７日（月）に毎年恒例の親睦会を開催致しました。整形外科医、理学療法士、スポーツ指導者、トップアスリート、トレーナー、学生など、競技、年代や立場の枠を越えて３０名以上の方々にご参加頂きました。普段の生活の中ではなかなか交流の持てない方々と美味しい食事をしながら様々な話で盛り上がった会となりました。

懇親会では医療とスポーツ現場が交流を深める場として、普段はなかなか聞けないお互いの現状や情報を交換することが出来ました。このような地域に密着した繋がりを拡大していくことが、選手達を囲むスポーツ環境作りに発展し、スポーツの明るい未来を作っていくことが出来ると思います。多くの方々のご参加ありがとうございました。参加して下さった方々のネットワークの拡大や今後の活動に活かされればと思います。

京都からの発信！！

スポーツネットミーティング2010

２０１０年を迎え、１月１０日（日）と１１日（祝）の２日間にわたり立命館大学朱雀キャンパスにてスポーツネットミーティングを開催しました。『子ども達に学んで欲しいライフスキル　～スポーツを通して学びたいしつけ～』をテーマに第１日目は「医科学サポートからみる地域スポーツへの取り組み」、第２日目は「トップ選手に聞く！ライフスキルとは」ということをテーマに、講演者の方々や関係者のご協力の元、開催することが出来ました。

第１日目は整形外科のドクターを中心に、医療現場からの意見や子ども達に多く見られる傷害やそれに対する予防策や対応策について話して頂き、傷害を動きの観点からお話をして頂くことが出来ました。また、今年のバンクーバー冬季オリンピックに出場するフィギュアスケート高橋大輔選手のケガから復帰までの経過やエピソードなど、私たちスタッフを含めて参加された方々にとって貴重なお話を聞く事が出来たと思います。そして、講演終了後には交流会を開き、参加者同士や講演された先生方と交流するよい機会となりました。

第２日目はスポーツ環境やメンタルについての講演、そしてプロ選手によるパネルディスカッションなど内容満載の１日となりました。特にパネルディスカッションでは、様々な分野で活躍されているプロ選手の方々に参加して頂いて、どのような生活を過ごしてきたのか、現在どのような取り組みをされているのかなど、普段は聞くことがない選手達の本音や経験、取り組みについて聞くことが出来ました。生で見るプロ選手の姿や生の声は、大人のみならず子ども達にとっても将来の目標設定や今後の生活に影響を与えるものとなったと感じています。快く講演を引き受けてくださった講演者の方々、そしてセミナーに参加して頂いた方々には大変感謝しております。ありがとうございました。年々内容も充実しており、次回はさらに多くの参加をスタッフ一同強く願っております。

今年度も引き続き毎月行われるスポーツネットミーティングのご参加をよろしくお願い致します。

＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜

次　回　の　開　催　予　定

次回の開催予定は、下記の通りです。個人的に質問のある方は少し早めにいらして下さい。この機会に是非ご参加下さい。

平成２２年３月１日　「スポーツ現場におけるコンディショニング２」